



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月7日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	19,931	5.9	358	4.8	488	2.7	293	△31.1
30年3月期第3四半期	18,828	6.4	341	△28.2	475	△21.9	426	△4.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 82百万円 (△87.9%) 30年3月期第3四半期 681百万円 (△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	23.92	—
30年3月期第3四半期	34.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,891	15,952	66.6
30年3月期	23,423	16,091	68.6

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,922百万円 30年3月期 16,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	5.8	950	46.6	1,150	36.0	700	666.1	57.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	12,300,000株	30年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	18,075株	30年3月期	17,990株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	12,281,953株	30年3月期3Q	12,283,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る混迷など様々なリスクが高まり、国際情勢の不透明要因が増したものの、企業収益は増勢を維持し、個人消費も消費者マインドの過度の落ち込みは見られず底堅い状況が続き、全体としては緩やかな拡大基調が続きしました。

当社グループ関連の燃料業界につきましては、中東の地政学リスク等により高騰していた原油価格が、10月をピークに年末にかけて一気に下落するなど、価格変動の激しい状況が続きしました。

このような状況のもと、当社グループは、「エネルギーのベストミックス」をモットーに、LPガス・石油類・電力小売・太陽光発電・リフォーム・保険等、地域密着型生活関連総合商社として10～11月にかけて各地で暖房機器等のお客様感謝祭を開催し、お客様のニーズにお応えする総合的な提案営業を積極的に展開してまいりました。電力小売事業につきましては、小売電気事業者として「サンリンでんき」の名称で電力の販売を継続して推進し、LPガスとのセット販売を含めお客様への幅広い提案に努めてまいりました。

また、11月には当社5番目となるセルフ型の給油所（豊科南サービスステーション）を安曇野市豊科に開設し、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、需要期の暖冬等の影響により灯油及びLPガスの販売数量の増加には至りませんでした。仕入価格の上昇に伴う販売価格影響と電力小売新規契約件数の増加等により、売上高は19,931百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

利益面につきましては、石油類及びLPガスの仕入価格の変動による棚卸影響から売上原価が増大しましたが、費用の圧縮等に努めた結果、営業利益は358百万円（前年同四半期比4.8%増）、経常利益は488百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期での子会社統合による税金費用減少等のような特殊要因はなく293百万円（前年同四半期比31.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比467百万円増加し、23,891百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加477百万円、現金及び預金の増加186百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比606百万円増加し、7,939百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加729百万円等によるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末比138百万円減少し、15,952百万円となりました。この結果、自己資本比率は66.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、取扱い商品の性質上季節的変動が大きな石油類及びLPガス等のエネルギー関連事業の第4四半期に占めるウェイトが高く、また為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では平成30年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,774	5,960
受取手形及び売掛金	3,501	3,979
商品及び製品	1,173	1,273
仕掛品	2	39
原材料及び貯蔵品	280	351
その他	126	55
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	10,854	11,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,863	9,019
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,655	△6,787
建物及び構築物(純額)	2,207	2,231
機械装置及び運搬具	4,453	4,542
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,818	△3,872
機械装置及び運搬具(純額)	635	669
工具、器具及び備品	3,184	3,213
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,606	△2,683
工具、器具及び備品(純額)	577	530
土地	4,505	4,552
建設仮勘定	8	16
有形固定資産合計	7,935	7,999
無形固定資産		
その他	123	102
無形固定資産合計	123	102
投資その他の資産		
投資有価証券	4,033	3,727
繰延税金資産	165	89
差入保証金	150	151
その他	190	193
貸倒引当金	△30	△27
投資その他の資産合計	4,509	4,133
固定資産合計	12,568	12,235
資産合計	23,423	23,891

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,151	2,880
短期借入金	2,817	2,915
1年内返済予定の長期借入金	74	20
未払法人税等	9	78
賞与引当金	214	56
その他	656	677
流動負債合計	5,924	6,628
固定負債		
長期借入金	104	89
繰延税金負債	156	67
役員退職慰労引当金	211	208
退職給付に係る負債	605	592
資産除去債務	128	150
その他	202	202
固定負債合計	1,408	1,310
負債合計	7,332	7,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,245	1,245
利益剰余金	12,747	12,820
自己株式	△9	△9
株主資本合計	15,496	15,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	348
退職給付に係る調整累計額	9	4
その他の包括利益累計額合計	564	353
非支配株主持分	29	29
純資産合計	16,091	15,952
負債純資産合計	23,423	23,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	18,828	19,931
売上原価	14,030	15,199
売上総利益	4,797	4,731
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	△1
給料及び手当	1,326	1,328
賞与引当金繰入額	45	45
退職給付費用	45	44
役員退職慰労引当金繰入額	12	22
その他の人件費	689	725
減価償却費	352	344
消耗品費	612	511
その他	1,370	1,352
販売費及び一般管理費合計	4,456	4,373
営業利益	341	358
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	57	60
受取賃貸料	29	21
その他	63	72
営業外収益合計	150	155
営業外費用		
支払利息	9	8
持分法による投資損失	1	4
その他	5	11
営業外費用合計	16	24
経常利益	475	488
特別利益		
固定資産売却益	12	—
資産除去債務戻入額	13	—
特別利益合計	25	—
特別損失		
固定資産除却損	4	—
減損損失	—	2
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益	497	486
法人税等	70	192
四半期純利益	427	294
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	293

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	427	294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△189
退職給付に係る調整額	5	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△17
その他の包括利益合計	254	△211
四半期包括利益	681	82
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	680	82
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,056	229	1,181	89	18,557	271	18,828
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	168	—	—	2	171	833	1,004
計	17,225	229	1,181	91	18,728	1,104	19,832
セグメント利益又は 損失(△)	245	27	36	△9	300	△30	269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	300
「その他」の区分の利益	△30
セグメント間取引消去	71
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	341

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,167	237	1,125	127	19,657	273	19,931
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	144	0	—	1	145	809	955
計	18,312	237	1,125	128	19,803	1,083	20,887
セグメント利益又は 損失(△)	289	29	34	△1	352	△44	308

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	352
「その他」の区分の利益	△44
セグメント間取引消去	50
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	358

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。